

バスは奈良から来るので、時間をちゃんと守らない。
バスで行くのは初めてだった。

待って、ヤキモキした。

それも京阪バスと近鉄バスのどちらに、
乗れば良いのかも、わからなかった。
バスが遅れて、向島を出たのが十分過ぎだった。

一時迄、間に合いそうでなかった。

バスはガタガタ揺れたが、早く行けた。
京阪七条、七条大橋で、市電を待った。

かわいい、ちっちゃい子を三人連れて

若い、きれいなご婦人がやって来た。

僕は、イライラ、やきもきしているのに、
楽しそうに、のん気に待っている。

市電はのろい。

ゆっくりと、右ゆれ、左ゆれ、

東山通りを北に、電車は進む。

あまり、人は乗っていない。

知り合いは誰もいない。

車掌さんが、切符をそろえている
様子を、僕は観察した。

「なぜ、この人は、この仕事をしているのかなあ。
この仕事に満足してるんだろうか。」

「市電の運転手っていい感じだなあ」
と、僕は小さい時、思った事がある。



487

行けばわかるだろう